



令和元(2019)年度

災害発生後の市町村の役割 ～復旧から復興へ～

近年、日本各地で地震、台風、水害等の大規模災害が多発しています。しかし、市町村では大規模災害の被災地となり復旧などの対応を経験した職員がいるとは限らないことから知識や経験が不足している場合が多く、あらかじめ災害発生後の対応を想定した準備が必要です。

この研修では、大規模災害発生後の被害調査や罹災証明書の発行、さらに避難所の運営など、復旧から復興時(特に復旧時)の法的・制度的な枠組みを理解するとともに事例を学び、発災後に市町村が迅速に被災者の生活再建支援ができるような能力の養成を図ることを目的とします。

研修の ポイント

- ① 復旧から復興にかかる制度的な枠組みを理解する。
- ② 自治体の事例から被災者の生活再建支援策を学ぶ。
- ③ 被災時における行政の対応業務を円滑に進めることができる。

※復興計画策定や都市計画に関する内容はこの研修の範囲としていません。また、災害直後の市町村の対応については、「災害発生時のマネジメント～対策本部の運営～」(3月2日～3月4日)研修を実施します。

開催要領

日程

令和2(2020)年1月29日(水)～1月31日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村の防災担当職員および復旧関連事務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

40人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

9,850円

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和元年12月9日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

1月
29日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～14:30

講義 復旧・復興にかかる法的・制度的枠組み～被災地支援のため～

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(事業推進担当)付 大島 茂氏
参事官補佐(復旧・復興担当)

災害発生後の復旧・復興における、インフラ復旧や生活再建等に係る各種の法制度について概略を説明いただきます。

14:45～17:20

**事例紹介 被災後の住民対応
～被害調査、罹災証明書の発行、義援金の支給等～**

京都府福知山市市民総務部危機管理室 主査 西山 峻平氏
財務部税務課 課長補佐 高見 眞司氏
主任 山口 秀幸氏
主任 塩見 卓也氏
福祉保健部社会福祉課 課長補佐 谷垣 薫氏

平成25年9月～平成30年8月の5年間で4回の大規模な豪雨災害があった福知山市。早急な対応が求められる被害調査、罹災証明書の発行、そして義援金の支給等、どのように進められたのか、具体的にお話しいただきます。

17:45～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～12:00

講義 災害発生後の市町村の役割～復旧から復興にかけて～

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授 阪本 真由美氏

災害発生後の復旧から復興期にかけて、市町村職員はどのような役割を果たすべきか、国・都道府県・他市町村・その他の団体等との連携も含めてお話しいただきます。

13:00～14:10

事例紹介 震災後の対応について

宮城県東松島市総務部防災課 危機管理監 村松 幸雄氏
コーディネーター 阪本 真由美氏

東日本大震災当時の状況と対応、そこから得た教訓をもとに取り組んだ防災対策、そして復興に向けた取組について具体的にお話しいただきます。

14:25～15:35

事例紹介 平成30年7月豪雨災害における対応

岡山県倉敷市総務局防災危機管理室危機管理課 課長主幹 河田 貢之氏
コーディネーター 阪本 真由美氏

平成30年7月豪雨での被災時の状況や避難所運営、そして倉敷市の被災後の取組について、どのように進められているか具体的にお話しいただきます。

15:50～17:00

質疑応答・意見交換

宮城県東松島市総務部防災課 危機管理監 村松 幸雄氏
岡山県倉敷市総務局防災危機管理室危機管理課 課長主幹 河田 貢之氏
コーディネーター 阪本 真由美氏

市町村の事例紹介でお話しいただいた東松島市の村松氏と倉敷市の河田氏との意見交換ならびに質疑応答により、理解を深めていただきます。

令和2年

1月
31日(金)

9:25～12:00

演習 生活再建に必要なこと

同志社大学社会学部社会学科 教授 立木 茂雄氏

大規模災害に遭った後、市町村職員がどのような役割を果たして復旧・復興に取り組んでいくべきか、また、そのために今何をすべきか等、受講者全員で討議します。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。